

ステークホルダーエンゲージメント S

エスビー食品グループの主要なステークホルダーは「お客さま」「お取引先さま」「従業員」「株主・投資家さま」「地域社会・国際社会」です。エスビー食品グループでは、持続的な成長と企業価値の向上を目指し、ステークホルダーの皆さまと積極的な対話を促進しています。建設的な対話を通じて、ステークホルダーの皆さまとの信頼関係を構築し、その期待や要請に応えるように取り組んでいきます。

ステークホルダー	対話の機会の例(2023年度末実績)
 お客さま	<ul style="list-style-type: none"> お客様相談センター(年間お問い合わせ件数19,754件) オンラインショップ「お届けサイト」 コーポレートサイト内レシピ(掲載数約9,000件) 国内外SNS コミュニティサイト「SPICE&HERB COMMUNITY」 スパイス&ハーブわくわくチャレンジ Waプロジェクト(累計コミュニケーション人数のべ約110万人)
 お取引先さま	<ul style="list-style-type: none"> 原材料生産先への訪問・現地調査 原材料調達先へのアンケート調査 生産農家との取り組み 有機・フェアトレード原料の展開 日々の営業活動 食品展示会への出展
 従業員	<ul style="list-style-type: none"> 従業員研修 社内報の発信 保育士・栄養士との面談 事業所内保育園「バジリック保育園」 S&Bホットライン 労使間協議
 株主・投資家さま	<ul style="list-style-type: none"> 株主総会 株主通信 投資家とのミーティング IR情報開示 個人投資家向け会社説明会
 地域社会 国際社会	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内保育園「バジリック保育園」 フードバンク、子ども食堂支援 ベルマーク教育助成 S&B杯ちびっ子健康マラソン大会(累計完走者数のべ約156万人) 地域イベントへの協賛

体験を通じたお客さまとのコミュニケーション

S&B杯ちびっ子健康マラソン大会

1984年にスタートした「S&B杯ちびっ子健康マラソン大会」は、エスビー食品の「おいしさ与健康」の理念にもとづき、スポーツを通じて心身ともに健康な子ども達になることを応援しています。2024年に40周年を迎え、全国各地で開催される大会の完走者は累計156万人を突破しました。これからも全国各地の皆さまとのコミュニケーションを大切に、食と健康に関連した支援に取り組んでいきます。



スパイス&ハーブわくわくチャレンジ

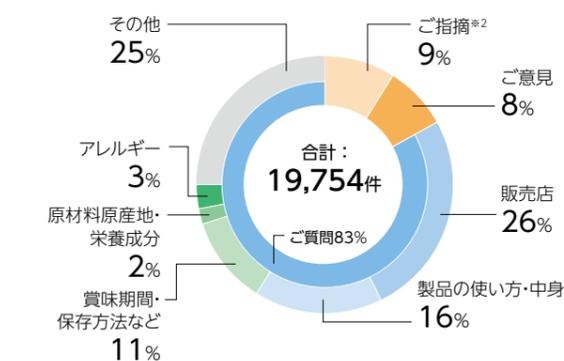
エスビー食品ではお客さまへ当社の歴史やスパイスとハーブの魅力をダイレクトにお伝えする機会として、「スパイス&ハーブわくわくチャレンジ」を開催しています。2023年度は当社スパイスセンター内にある「スパイス展示館」で、10月に従業員ファミリー、12月にお客さまファミリー、合計181人にご参加いただきました。これからもダイレクトコミュニケーションの機会を継続していきます。



お客さまの声を反映する取組み

「お客様相談センター」は、お客さまとエスビー食品を直接つなぐ重要な役割を担っています。2023年度は、19,754件のお問い合わせをいただきました。カレー粉を使ったレシピ、レトルトカレーの調理方法、スパイスの保管方法など、当社製品への関心が伺える質問も多く寄せられました。お客さまのご意見は、社内の会議で報告されたり、Compass System (コンパスシステム)※1 を利用し、関連部門と共有されます。これにより、製品やサービスの改善に役立っています。また、嬉しいお声やご要望は、日々従業員に共有されています。

2023年度お問い合わせ件数



※1 電話とコンピューターを統合する仕組みを利用して、お客さま情報やお問い合わせ内容を一元管理するシステム
 ※2 不都合品に対するお申し出のこと

ウェブ、SNSを通じたお客さまとのコミュニケーション

エスビー食品は、国内外の各種SNSや、2023年11月にオープンしたコミュニティサイト「SPICE&HERB COMMUNITY」において、お客さまと双方向のコミュニケーションを積極的に図っています。コミュニティサイトでは、キャンペーンやイベントのご案内、製品へのこだわりなどの当社からの発信のほか、お客さま同士でのスパイスやハーブに関する情報交換を楽しんでいただいています。お客さまから投稿される情報は、当社のブランディングの参考にもなっています。



食文化の継承

「わさび」は古くより日本の代表的なスパイスとして知られています。しかしながら、近年国内のわさび田は減少しており、伝統的な食文化の継承が途絶えてしまうことが危惧されています。そのようななか、当社は山梨県道志村で放置されていた「わさび田」跡の復興と、そこでの沢わさびの栽培試験を開始しました。わさび田に関する技術・知見をもった人材の育成や、生産現場の課題抽出・解決への取組みを通じて、国内の持続可能なわさび生産に貢献します。



子ども食堂への支援活動

当社は企業版ふるさと納税の制度を活用し、全国の子ども食堂に対して食材の支援を行っています。寄付先から提供される規格外野菜と当社のカレールーを子ども食堂へ送付することで、カレーとして野菜を余すことなく味わっていただくとともに、食品ロスの現状や自分にもできる食品ロス削減の取組みをお伝えしています。2023年度は延べ378か所の子ども食堂へ食材セットを配布しました。引き続き、食を通じた社会課題の解決に取り組んでまいります。

